令和５(2023)年度 下都賀地区人権教育研修会を開催しました

令和５(2023)年１１月２１日（火）実施

下都賀教育事務所　学校支援課

１　研修の目的・内容

（１）目　的

共感的理解を深める指導、明るい展望がもてる指導、人権問題解決への実践力を育てる指導など、各教科等における具体的な指導の在り方について研修を深め、各学校における人権教育の一層の充実を図る。

（２）内　容

〇班別研修

「『各教科等における直接的指導』を充実させるための指導の在り方」についての授業実践を基にした班別協議

２　本研修で確認したこと

【栃木県における人権教育の推進について】

〇 人権教育の目標等

〇 三つの内容及び三指導について

〇 「育てたい資質・能力」と学習指導案への位置付けについて

〇 直接的指導について

各教科等の授業において、**人権一般**や**様々な人権問題**を取り上げ、各教科等本来の目標を達成するとともに、自他の人権を尊重し、かつ人権に関わる様々な問題を主体的に解決し、人権尊重の社会を築いていこうとする資質や能力を育成するなど、人権教育のねらいを達成する指導

〇 共感的理解を深める指導と明るい展望がもてるようにするための指導について

【参考資料】

・「令和５(2023)年度版　下都賀地区学校教育の重点」	（下都賀教育事務所　下都賀地区市町教育委員会連合会）
・『令和５年度　人権教育推進の手引 』	（令和　５年４月　栃木県教育委員会）
・『直接的指導の充実を図るための基底的指導について』	（令和５年３月　栃木県教育委員会）
・『様々な人権問題を扱った直接的指導の工夫』	（令和　３年３月　栃木県教育委員会）
・『人権教育推進のためのＱ＆Ａ－直接的指導編－』	（平成 31 年３月　栃木県教育委員会）
・『人権教育推進のためのＱ＆Ａ』	（平成 29 年３月　栃木県教育委員会）

３　本研修で学んだこと（参加者が記入した「研修の振り返り」より）

〇直接的指導、「共感的理解」、「明るい展望」について

・「単に人権問題を取り上げるだけでは直接的指導とはいえない」ということが分かりました。知識として「こんな差別があるんだよ」だけでは、やはりどこか他人事で、共感的理解にはつながりません。今なお差別で苦しむ人がいるということに必ず触れようと思います。「差別解消を図るための資質・能力」を育てることがねらいとなるように指導を見直さなければならないと感じました。

・共感的理解という点で、自分の視点がずれていたことに気付かされました。今後は「自分のこととして感じる」という点を意識していきたいです。今回私は道徳で授業を行いましたが、他の教科については、本時のねらいと人権教育のねらいの達成の両立が難しいと思います。今後も授業を行いながら、人権教育の視点を意識していきたいです。

・教科のねらいと人権教育のねらいのどちらも達成できるよう、育てたい資質・能力に焦点化した直接的指導の授業研究をしていきたいです。また、授業をして終わりではなく、子どもたちの実践力を高めるための生活との結びつけや基底的指導、その評価も続けていきたいです。

・直接的指導の大切さを実感するとともに、やはり基底的指導の重要性も再確認しました。児童が当事者意識を持って考えられる教材を用意し、共に考え、差別に苦しむ人の声を聞かせたいと思いました。日常生活の中で、私自身の人権意識を高め、児童の手本となるような言動ができるよう、心がけたいと思います。

・私は今まで「直接的指導は難しい。どうしたらいいか分からない」という思いが強くありました。今回の研修に参加して、「育てたい資質・能力」は何かをしっかりと意識して授業をつくっていくことが大切であると感じました。

・「育てたい資質・能力」は「差別解消を図るための資質・能力」であることを改めて学びました。全ての授

業において直接的指導は難しいからこそ、タイミングを逃さない計画的な指導が大切だと感じました。今後の指導のためにも私自身が人権問題を学び、人権感覚を磨いていきたいです。
・「共感的理解」を深める工夫と「明るい展望」がもてる工夫を考える難しさ、楽しさが感じられる研修となり、とても有意義でした。直接的指導ができる機会を設定し、積極的に取り組みたいです。

○ 班別研修について

・本グループは低学年担当のグループだったので、いかに自分事としてとらえさせるか、共感させるかという話がメインになりました。児童の心を揺さぶる手段をグループの先生方と協議でき、勉強させていただきました。差別を取り除くための指導ができているか自身の指導を振り返ると、まだまだ研究と実践が必要と思います。普段から意識していきたいです。
・班では道徳科についての実践例が多く出ましたが、発問を工夫し、課題となる人権問題について苦しんでいる人、困っている人の視点から社会を捉え直す仕掛けづくりが重要だと学びました。単に人権問題に触れるだけでなく、差別解消を図るための素地づくりを課題に授業づくりを行いたいです。
・班別協議の中で、共感的理解を深める具体的な手立てとして、体験的な活動を入れるという意見が出ました。低学年ほど直接的指導は難しいと考えられますが、視覚的、触覚的な働きかけで、相手を思いやるきっかけは作れるのではないかと考えさせられました。
・同じグループの先生方が持ち寄った実践での人権問題が別々だったことで、より多くの直接的指導について学び、理解を深めることができました。今回の授業実践が一度きりで終わることがないよう、子どもたちがよい方向に変容していくことを願いつつ支援していきたいと思います。
・班別協議から、自分事としてとらえられるかどうかで、共感的理解の深まりが違ってくることを学びました。子どもたちの人権意識を高めるためにも、計画的に指導することの重要性を感じました。
・班別協議では、社会、道徳、国語と様々な実践を出していただき、異なる面からの指導やアプローチが大変参考になりました。教科のねらいを達成しながらの「明るい展望」をもてる指導の難しさ、課題や面白さ、やりがいが共有できて、大変有意義な研修でした。

○ その他

・学校全体で、各学年の発達段階を踏まえ、系統立てて人権問題を扱うことがとても大切だと思いました。それぞれの学校での取組や新たな視点から学んだことを、授業改善につなげていきたいです。
・低学年の段階から人権問題について触れ、積み重ねて指導していくことが大切だと改めて感じました。また、日頃の人権意識について振り返るきっかけにもなりました。忙しくて見逃している子どもの行動や聞き逃している子どもの言葉はないか、考えながら過ごすようにしたいです。
・直接的指導の充実を図るため、発達段階に応じた指導法や工夫についてグループの先生方と共有することができました。直接的指導の難しさを実感する日々ですが、人権尊重の精神の「涵養」を忘れず、児童の心にも少しずつでも伝わっていけるよう、頑張っていきたいです。
・本日の研修を終えて一番に感じることは、今年人権教育の担当をしてよかったということです。班別協議や全体会、指導主事の先生の話で、自分の中で分からなかった部分がよく理解できました。今後、学校に戻って校内の先生方にも本日の研修の学びを伝えていきたいです。
・人権問題について扱っている教科書は少ないですが、深く考えさせたい内容はとてもたくさんあるので、時数という限りのある中で、できるだけ多くの内容を教えていきたいと思いました。